

農業技術 プリズム

暖地での施設花き栽培は冬
春出荷が主であり、夏場の補
完品目導入による経営安定が
望まれています。小菊は栽培
期間が短く、9月彼岸は需要
が高いことから、夏場の補完
品目として期待が寄せられて
います。

しかし、施設栽培での9月
彼岸出荷作型は高温等の影響
で、開花遅延が生じやすく、
計画出荷が困難となっていま
す。

そこで、電照による開花調
節が可能な本県オリジナル夏
秋小菊品種「長崎SWC1」
「長崎SYC1」「長崎SRC
C2」を用い、施設9月彼岸
出荷作型における安定生産技
術を確立しました。

夏秋小菊3品種を5月26日
に定植、6月7日に摘芯、6
月22日に株当たり3本に整枝

しました。消灯は7月20日に
行い、消灯日までは5時間の
暗期中断を行いました。
その結果、3品種とも消灯
から57日で収穫でき、75%以

県オリジナル夏秋小菊品種

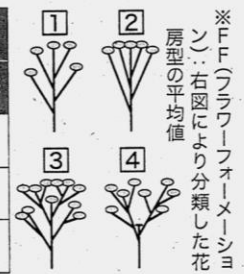
9月彼岸出荷作型の 安定生産技術を確立

上の十分な切り花長を確保す
ることができました。消灯時
の草丈は約40で行いました
が、より長い切り花長を求め
る場合は、定植時期を早め、
消灯時草丈を長くする必要が
あります。

以上のことから、本県オリ
ジナル夏秋小ギク3品種は定

9月彼岸出荷作型 本県オリジナル夏秋小菊の切り花品質

品種名 (色)	消灯時		切り花品質					
	草丈 (cm)	節数 (節)	切り花長 (cm)	節数 (節)	75cm重 (g)	有効枝数 (本)	花数 (個)	FF※
長崎SWC1 (白)	40.6	22.9	80	54.8	46	14.8	17.4	1.0
長崎SYC1 (黄)	39.8	21.6	79.4	53.3	49.2	15.3	17.8	1.0
長崎SRC2 (赤)	40.4	22.5	78.7	54.3	46.6	14.5	16.2	1.0



※FF(フラワーフォーメーシ
ョン)：右図により分類した花
房型の平均値

植を5月下旬、消灯を7月中
旬に行うと、9月彼岸に高品
質の切り花を出荷することが
できます。

(長崎県農林技術開発セン
ター 農産園芸研究部門 花
き・生物工学研究室主任研究
員 中村優人)